



議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ..... 鎌倉市議会

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会



検索

令和5年(2023年)7月臨時会(7月13日)

令和5年(2023年)9月定例会(9月6日~10月3日)

令和4年度一般会計決算等を認定

●定例会等の概要

- 7月臨時会では、市長提出議案として、補正予算議案1件、その他議案1件を可決しました。
- 9月定例会では、20名の議員が一般質問を行いました。
- 市長提出議案として、条例関係議案8件、補正予算議案3件、その他議案4件を可決、令和4年度一般会計決算ほか5特別会計決算を認定、下水道事業会計に係る剰余金の処分および決算を可決および認定、公平委員会委員の選任議案に同意しました。
- 議員提出議案3件を可決、陳情2件を採択しました。

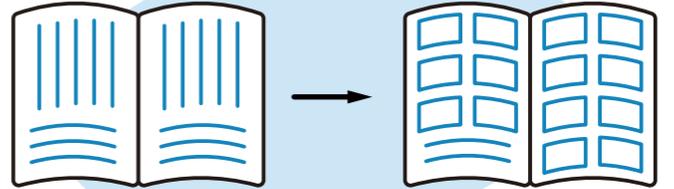
●定例会等の主な動き

7月臨時会/本会議(7/13)	議案上程、委員長報告、採決
建設常任委員会(7/13)	議案審査
総務常任委員会(7/13)	議案審査
9月定例会/本会議(9/6~8、11、12)	一般質問、議案上程、採決(2面~4面・6面)
各常任委員会(9/13~15、19、10/2)	議案・陳情審査等 (4面・5面)
決算特別委員会(9/12、21、22、25~27、10/2)	議案審査 (5面)
本会議(10/3)	委員長報告、議案上程、採決 (6面)

議会だよりのリニューアルを行っていきます!!

議会広報委員会では、読みやすく充実した内容の「かまくら議会だより」にするため協議を重ねており、その一環として、アンケートを実施しました。その結果、「各議員がどのような一般質問をしたか知りたい」という多くのご意見をいただいたことから、「一般質問紙面」を第262号(令和5年8月1日発行)より見直しました。

引き続き、親しみやすい紙面を目指して、協議を行っていきます。



一般質問の紙面をリニューアル



第261号 (令和5年5月1日発行)



第262号 (令和5年8月1日発行)

これまでは...

- 一般質問紙面は、項目別に整理し、掲載してきました。議員の多様な議論を皆さまに知っていただくため、議員ごとに掲載しました。
- 議員ごとに録画中継映像のQRコードを掲載し、閲覧できるようにしました。

これからは...

- どなたにも読んでいただけるように
- 読みやすい文字の大きさ
- 見やすいレイアウト
- 親しみあるデザインなど紙面にまいります。



一般質問

主な質問と答弁

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。9月定例会では20名の議員が一般質問を行いました。
 一般質問の全文は、11月下旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

鎌倉市職員の働き方について

ゆめみらい 中里 成光



質問…市の職員が地域活動に参加しやすくする環境づくりとして、「地域貢献活動休暇」制度を導入する考えはあるのか。
総務部長…今後、地方公務員の休暇制度において、そのような休暇制度の方針が示された場合は制度の導入を検討していきたい。
質問…執務時におけるバランスボールの本格導入を行った。実際にバランスボールを利用した職員の実績と声を伺いたい。
同部長…試験導入において47名の職員が利用し、姿勢が良くなった。腰痛が改善されたとの声もあり、心身への効果が確認できた。健康経営に取り組んでいる本市としては職員の生産性向上や健康増進のために活用していきたい。

その他の質問: つながる鎌倉エール事業について



災害時のペット同行避難に関して

公明党 児玉 文彦



質問…昨年9月の一般質問で提案・要望し、現在制作中と聞いている鎌倉市の「ペット同行避難ガイドライン」の完成はいつ頃か。
市民防災部長…環境省ガイドラインや他市町村の先進事例を参考にしながら関係課と協議中。今後、神奈川県鎌倉保健福祉事務所や獣医師会など関係機関の協力を得ながら作成を進め、令和5年度内の完成を目指している。
質問…愛犬家の多い鎌倉市としてペット同行避難訓練の早期実施を望む。
同部長…「ペット同行避難ガイドライン」作成と並行し、関係者と協議連携しながらペット同行避難訓練の実施に向けて取り組んでいく。

その他の質問: 二階堂地域の停電対策に関して、民有地の樹木管理に関して



有害鳥獣対策について

自民党 森 功一



質問…野生鳥獣による被害はどのようなものがあるのか。
環境部長…有害外来生物による被害で最も多いのは果実の食害や樹皮剥ぎ、また、屋根裏に営巣されるなど生活被害も報告されている。
質問…タイワンスについてどのような対策を取っているのか。
同部長…市民に捕獲檻を貸し出し、捕獲した個体が回収している。
質問…タイワンスの捕獲頭数はどのように推移しているのか。
同部長…直近三年間は毎年1000頭を超えている。令和5年度は既に800頭を超えており、生活被害だけでなく生態系への影響が懸念される。
質問…タイワンスについて新たに対策は立てないのか。
同部長…市が主体となり生息密度が高い地域での重点捕獲を検討する。

その他の質問: 消防団の連携・交流について



災害時要援護者登録制度について

無所属 千 一



質問…災害時要援護者は現在何人登録されていて、対象者の何割ぐらいか。
市民防災部長…令和4年度の登録者は1万843人。対象者は約4万6千人なので2割強である。
質問…対象者にはもっと登録してほしいが、鎌倉市としてはどう考えているか。
副市長…あくまでも本人の意向によるものだが、避難が困難となる方の登録が必要であると認識しており、制度の周知・充実を図っていく。

その他の質問:



帰宅困難者対策を中心とした防災対策について

無所属 久坂 くにえ



質問…(8月5日のJR事故による帰宅困難者発生に関し)広域的な対応が必要であり、鉄道事業者や県などに提言を行うべきではないか。
市民防災部長…鉄道事業者をはじめとした民間事業者、県との意見交換や訓練を通じて対応を行っていく。
質問…市内帰宅困難者一時滞在施設の地域偏在を解消する必要があるが、今後の指定の考えは。
同部長…一時滞在施設の確保や近隣自治体等との連携も検討する。
質問…地域の防災力向上のために、自治町内会等の様々な団体をつなぐためにも支所機能の充実が求められるが、いかがか。
同部長…支所の地域支援機能の充実が必要と認識している。

その他の質問:



公共施設再編計画の見直しについて

日本共産党 高野 洋一



質問…公共施設再編計画に含まれている深沢地域で整備予定の総合体育館・総合グラウンドは、鎌倉体育館・大船体育館・坂ノ下の海浜公園水泳プールを廃止して集約・複合化する計画となっている。市民生活への影響が大きく、廃止対象となる地域住民との合意形成が極めて重要だが、どのような形で進めていこうと考えているか。
健康福祉部長…深沢地区における総合体育館等の施設整備に関しては、来年度にかけて検討中のスポーツ振興基本計画に基づく施設整備の基本構想の策定時にもパブリックコメントを行う予定。また、今後の施設整備を進めるに当たっては、現在のスポーツ施設利用者へ十分な説明を行うなど、丁寧に対応するよう努めていく。

その他の質問: 新庁舎等整備計画の見直しと市庁舎現在地利活用計画について



子ども読書活動の推進と学校図書館のあり方

公明党 納所 輝次



質問…学校図書館の図書廃棄の基準と廃棄状況、新たな図書の補充状況はどのようになっているか。
教育文化財部長…傷みが激しい書籍や情報が古くなった書籍などについて、種別ごとに廃棄の基準を定めている。電算化対応を契機に図書を整理・廃棄した結果、令和2年度から図書総数が年平均1万1千冊程度減少している。図書の補充数は、1年あたり約7千冊で、継続的に図書数の充実を図っている。
質問…デジタル社会に対応した読書環境の整備への取り組みを伺う。
同部長…第4次子ども読書活動推進計画で「紙資料とデジタル資料のハイブリッドな情報活用」を重点目標に掲げている。

その他の質問:



※ゆめみらい=夢みらい鎌倉
 日本共産党=日本共産党鎌倉市議会議員団

自民党=自民党・無所属の会
 ネット=神奈川ネットワーク運動・鎌倉

公明党=公明党鎌倉市議会議員団
 銀河=銀河鎌倉





介護保険制度の状況について

銀河 岡田 和則



質問…介護医療院の概要を教えてください。

健康福祉部長…制度は平成30年4月1日に創設。介護保険施設として長期療養が必要な要介護者に医療機能と日常生活支援を行う。

質問…県内の介護医療院は政令指定都市を除いていくつの施設があり、入所定員は何名か。

同部長…7施設。定員合計440人。(令和5年8月1日現在)

質問…鎌倉市の被保険者で、介護医療院への入所者は何名か。

同部長…10人。(令和5年6月現在)

質問…来年の計画に介護医療院の鎌倉市での設置は入っているか。

同部長…ニーズや施設からの相談に応じて見極めていきたい。

その他の質問: グランシップと大船通りの直結について、大船観音前マンション建設跡地の活用について



元気高齢者の施策について

ゆめみらい 前川 綾子



質問…高齢者の就労のための、ジーバーシステムとは。

副市長…AIを活用した求人システム。時間やスキルを細かく切り分けた就労につながる。ボランティア活動などへの応募も可となる。

質問…みらいふる鎌倉の事務局について、一定の場所に設置し、経験のある職員を配置する必要があると思うが。

健康福祉部長…市職員がサポートしているが、会員の高齢化に伴い事務作業の負担等で運営に支障があり、ご指摘の要望を受けている。

質問…二階堂地区で「きしろ」が送迎車両を運行するそうだが。

同部長…二階堂地区の住民の要望を受け、10月以降に試験運行を始めると聞いている。買い物、通院、習い事などに対応する。

その他の質問: コロナが高齢者に与えた影響について、老人福祉センターについて、老人クラブについて、高齢者の外出支援について



子育てしやすいまちNo.1を目指して

銀河 くりはら えりこ



質問…待機児童の解消のための有効な手段の一つとして、施設整備があると思うが、今後どのように考えているか。

こどもみらい部長…施設整備と並行して保育士確保策を行いながら、待機児童対策に取り組んでいる。今後も様々な手法を組み合わせる。

質問…保育料の無償化の対象となっていない0歳から2歳児までの保育料や給食費の無償化も有効な手段だと考えるが、いかがか。

同部長…限られた財源の中での多額の負担が発生することや、未就学児に対する支援の公平性の観点から、課題があると考えている。

質問…子育てしやすいまちNo.1を目指していただけないか。

市長…令和6年度予算に、より充実した子育て支援策を提案したい。

その他の質問: 災害の事前復興と関連死予防、鎌倉市役所本庁舎の深沢移転は市民に必要なか、公共施設のメンテナンス



食を通した居場所づくりと給食について

ネット 井上 三華子



質問…食を通した居場所の開設や運営に対し、国や他自治体で様々な支援がなされており市内でも増えていくと考えるがどうか。

健康福祉部長…子どもから高齢者まで心も体も満たされる、安心して過ごせる居場所が地域の身近な所ができるよう、みんな協議会の協力を得ながら運営にあたっての幅広いサポートを行っていく。

質問…給食の牛乳飲用については、アレルギーが増えていることや食品ロスの観点からも選択制にしてほしいがどうか。

教育文化財部長…牛乳の飲用停止の診断書の提出が負担であるという声や、牛乳の残食量の増加傾向を考え、牛乳の在り方について今一度検討してより良い給食の実現を目指して取り組みを進める。

その他の質問: 「学校、家庭生活に関する調査」で明らかになった課題とどう向き合うのか、本庁舎の手洗いをせっけんに



公共施設再編計画の考え方と実際の展開

ネット 保坂 令子



質問…地域拠点校は再編手法の柱だが、対象校の建て替え時期に合わせた長期的な視野に立つものであることの周知が不十分ではないか。

総務部長…計画策定から8年経つ。進捗状況や今後の見通しとともに公共施設再編の意義や目的を改めて市民にお知らせしていく。

質問…再編の取組方針に「施設と機能の分離」や「公共施設にこだわらない公共サービスの提供」があるが、活用できる民間施設は少なく、高層化してその床を民間が使うような官民連携手法も難しいのが本市の実情ではないか。

市長…各施設の状況に応じた適切な手法を検討して更新・長寿命化を行うが、市役所所在地の利活用では公共スペースを優先していく。

その他の質問: 来春の「困難な問題を抱える女性支援法」の施行に向けて市が取り組む女性支援策、特に10・20代の女性への支援



孤独をどう防ぐか【独居高齢者・妊産婦など】

自民党 後藤 吾郎



質問…市内独居高齢者の人数と推移は。また行政サービスは。

健康福祉部長…令和2年度の国勢調査では10435人。今後25年間は増加傾向、2050年頃にピークを迎えると予測。本市では高齢者見守り制度を実施している。令和5年度7月時点で約2100人が登録済。

質問…消防で見守り制度を共有していると聞いている。今の課題は。

消防長…住宅火災の死者は7割高齢者。住宅防火の更なる啓発が課題。

質問…湘南鎌倉パースクリニックが閉院と伺っている。産後ケア事業に代表される妊産婦への支援がより重要となると思うがどうか。

健康福祉部長…関係機関との連携をより強化するとともに、安心して妊娠期から子育て期まで過ごせるよう切れ目のない支援をしていく。

その他の質問: 下水道事業の今とこれから【社会基盤施設マネジメント計画、持続型下水道再整備事業などに関連して質問】



保育園の待機児対策について

日本共産党 吉岡 和江



質問…保育を必要としている児童に対する市の責務について、伺う。

こどもみらい部長…児童福祉法第24条第1項の規定に基づき、保育が必要な児童の保育を行うことは、市の責務と考えている。

質問…待機児童数、保留児童数の状況は。

同部長…令和5年4月1日時点の待機児童数は28人、保留児童数は229人で令和4年度と比べて増加した。保留児童数の約80%が、待機児童数は全員が1、2歳児である。

質問…待機児童対策は喫緊の課題であり、どのように対応するのか。

市長…実施している施設整備や保育士確保策のほか、現在検討中の実効性のある効果的な施策を、早期に実施を目指してまいりたい。

その他の質問: 介護保険および利用料軽減、特養の整備、視覚健診、加齢性難聴補聴器助成、带状疱疹ワクチン補助、外出支援



教職員の「実効性ある働き方改革」に向けて

無所属 竹田 ゆかり



質問…各校の水泳授業は毎年多くても2、3回しか行えない。使用頻度に比べてプールの維持管理費も高く老朽化も進んでいる。一方プール清掃など管理業務が多岐にわたり教職員の負担となっている。学校外プールを活用した年間を通しての指導を検討してはどうか。

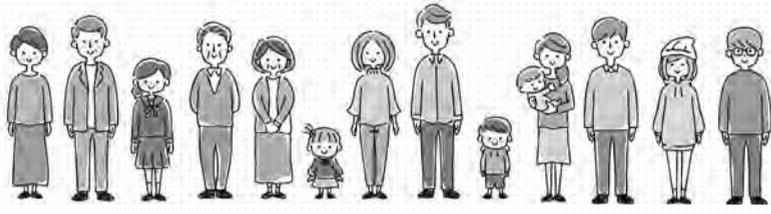
教育文化財部長…学校での働き方改革を進めるためにも、プールの維持管理の在り方の検討が必要である。プールの老朽化も進んでいることから、他自治体の状況を参考に検討していく。

質問…保護者から学校へクレームが寄せられ、教員が対応に追われることが多いと聞く。スクールロイヤー配置の検討をしてはどうか。

同部長…トラブル未然防止、教員の負担軽減のために検討していく。

その他の質問: 「スクールコラボファンド」を活用した学習について、子どもの視点に立った「多様な学びの場づくり」について





バスケットボールイベント・姉妹都市について

無所属 松中 健治



質問…バスケットボール日本代表がオリンピック出場を決めたが、この機運に乗じてバスケットボールイベントを開催したらどうか。

健康福祉部長…市内でバスケットボールイベントを開催することで、例えば不登校になっている児童等にも見学や体験をしてもらうなど、イベントの開催内容や場所、時期について今後検討していく。

質問…令和4年12月定例会でも取り上げたが、鎌倉市と鹿児島市との間で友好交流の動きはどのようになっているのか。

市長…現在、文化や観光を中心とした交流協定の締結に向けて協議を行っており、引き続き、協定書の内容や調印式の日程について鹿児島市と調整を行っている。

その他の質問:



交通渋滞対策/粗大ごみ収集利便性の向上

無所属 くり林 こうこう



質問…交通渋滞対策は喫緊の課題。抜本的な改革を行いたい。

市長…令和4年度に設置したAIカメラのデータをもとに、令和5年度に交通分析を行う予定。ハードとソフトを組み合わせた形での検討を行う。

質問…粗大ゴミ収集予約での利便性向上を望む声が市民からある。今後どのように利便性を向上させるのか。

環境部長…令和6年度中に新システムの導入を考えている。予約空き状況のリアルタイムでの確認、収集日のスムーズな確定ができるようなシステムにしたい。

その他の質問:鎌倉市ケアラー支援条例と具体策、観光振興と住民生活の共生(鎌倉高校前、海水浴場など)、再生可能エネルギーの導入



【おわびと訂正】

第262号(令和5年(2023年)8月1日発行)3面、納所輝次議員の一般質問記事の答弁者に一部誤りがございました。正しくは以下のとおりです。

(誤)6行目の同部長 → (正)こどもみらい部長
(誤)9行目の同部長 → (正)教育文化財部長

おわびして訂正いたします。
なお、市議会ホームページに掲載している記事につきましても、訂正しています。

救急搬送数130%死亡者数120%激増の実態

無所属 長嶋 竜弘



質問…令和2年比で令和4年と令和5年上期の救急搬送数が130%増、死亡者数が120%と増加している実態についてどのように考えているか。

市長…救急搬送数や死亡者数が、過去に比べて増加傾向にあることは認識しています。要因につきましては、なかなか市だけで答えが出るというものでもないと思います。

その要因について、国立感染症研究所感染症疫学センターが、日本における新型コロナウイルス感染症流行期における死亡者数について詳細な分析をしていくことを検討していることから、その動きを注視してまいります。

その他の質問:やる気なし一向に改善しない交通道路問題、被害認定4098名被害の歴史を変えたコロナワクチン



自治会町内会等への補助金について

自民党 志田 一宏



質問…ウィズコロナ時代となり、4年ぶりに夏祭りを開催した町内会も、物価の上昇や少子高齢化で運営は困難さが増している。地域力維持向上のために尽力している町内会には、補助金を出せないか。また町内会の再編について市長の考えはどうか。

市長…コロナ前は、町内会同士で活動の活性化について意見交換する交流の場を設けていた。コロナ禍になり交流は止まっている。自治会町内会の皆さんは、苦勞しながら運営されている。市内様々な町内会があるが、ずいぶん差が出てきた。町内会の運営状況を踏まえ、補助も含めて、地域コミュニティの活性化の一翼を担っている自治会町内会活動が円滑に進むよう支援の在り方を検討する。

その他の質問:市立小中学校のプールについて



こども・若者の意見聴取について

無所属 藤本 あさこ



質問…ワクワクする学びについてはたくさんの新しい施策を実施されているが、不登校やいじめ対策については何か施策はないか。前教育長が、学校には福祉機関としての役割もあると答弁されていたが、高橋教育長になって新しい独自の福祉に関する施策などは打たれるのか。

教育長…現時点では新しい施策はないが、各学校に、児童支援専任教諭・生徒指導担当教諭・教育相談コーディネーターの配置を継続していく。

その他の質問:気候変動に関する取り組みについて、鎌倉市の教育の今後の方針について



可決した意見書・決議

9月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書

本年6月2日、番号法等改定案が成立し、同月9日に公布された。これにより、2024年10月に現行の(紙の)健康保険証は廃止され、マイナンバーカードへの一本化(マイナ保険証)が基本となる。しかし、この間、マイナンバーカードやマイナ保険証をめぐり、様々なトラブルや問題が頻発したことにより、制度やシステムに対する国民不信は広がりを見せている。

医療現場では、マイナ保険証などオンライン資格確認システムのトラブルが7割にも上るとの調査結果が報道されている。直近では健康保険証の券面に記載された窓口負担割合とオンライン資格確認で表示された窓口負担割合の相違があった事例があったとの報道もあった。こうした問題が生じている要因は様々考えられるが、現時点でマイナ保険証に関わるシステムの基盤をなすデータの正確性や信頼性に問題があることは明らかである。

介護現場においても9割超の高齢者施設が入所者のマイナンバーカード(暗証番号を含む)の管理に不安を抱いているとの報道も報じられている。

厚生労働省はマイナンバーカードを取得していない人に対して、健康保険証の代わりとなる「資格確認書」を発行するとしているが、国民健康保険の管理業務を担う自治体事務の現場からは、申請や更新の未済などにより、「無保険扱い」が生じる危険性、保険者の実務の負担増を懸念する声が上がっている。事実、神奈川県下の国民健康保険・後期高齢者医療制度の主管課長等一同は6月20日、厚生労働省保健局長に対して「マイナンバーカードと健康保険証の一体化に対する要望書」を提出した。要望書では、前述の危険性や懸念など指摘した上で、国民健康保険や後期高齢者医療制度の円滑な運営の確保に向けて、「資格確認書」の様式や交付ルールなどを現行の健康保険証に準じたものにするよう求めている。

以上のような患者、医療、介護現場、自治体現場が抱える問題や懸念からも紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年(2023年)10月3日 鎌倉市議会

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われている。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年(2023年)10月3日 鎌倉市議会

くりはらえりこ議員に対する問責決議

くりはらえりこ議員は、令和5年6月定例会における6月16日開催の建設常任委員会にて、「議会だより」に市長が介入した」という発言を行った。

執行機関からの独立性の確保を図っている議会が、市長の介入を容認しているとの発言は、市民の信頼を大きく揺るがす発言である。発言の真意を確認するべく、くりはらえりこ議員に対し、度重なる発言の根拠の提示を求め続けてきたが、今日まで一切の根拠の提示はない。

提示できる事実がないにもかかわらず、議員という立場で、常任委員会という公式な記録が残る場面において根拠のない発言を行った、くりはらえりこ議員には、今後、資質の向上に努めるとともに、根拠のない発言は厳に慎むべきであると言わざるを得ない。

よって、本議会は、くりはらえりこ議員の責任を問い、猛省を強く求める。

以上、決議する。
令和5年(2023年)10月3日 鎌倉市議会

陳情の議決結果

9月定例会では、7件の陳情が提出されました。そのうち、1件を全議員に配付し、6件を各常任委員会に付託し、審査を行いました。

付託した6件のうち、4件を継続審査とし、本会議において2件を採択しました。結論が出た陳情の要旨および結果は次のとおりです。

【採択した陳情】

◇通院対策についての陳情

陳情の要旨

令和6年度予算策定に際し、人工透析治療を受けている方の通院にかかる費用について、移動困難者の交通費負担が軽減されるよう、助成制度の拡充を求めるものです。

◇重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

陳情の要旨

令和6年度予算策定に際し、重度障害者医療費助成制度について、透析患者ならびに全ての重度障害者が負担なく医療を受けられるよう、制度の継続ならびに条件に対する再検討を求めるものです。

以上2件は、教育福祉常任委員会、本会議ともに総員の賛成により採択しました。

令和4年度決算を審査 一般会計決算等を認定

決算関係議案の提案

9月12日に開催された本会議において、一般会計決算等7議案が提案されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月12日の本会議において、各会派から選出された委員7名(委員名簿参照)からなる令和4年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(以下「決算特別委員会」という)を設置し、これらの審査を付託しました。

決算特別委員会における審査

決算特別委員会では、9月12日、21日、22日、25日、26日、27日、10月2日の7日間において、正・副委員長長の選任、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画実施計画の諸施策の進捗状況などを中心に、予算の適正な執行と、その行政効果について担当部課等への質疑等を行うとともに、重要課題については市長に出席を求め、その見解をたえました。

審査後、採決を行い、一般会計、大船駅東口市街地再開発事業特別会計および国民健康保険事業特別会計の歳入歳

出決算は多数の賛成により認定。公共用地先行取得事業特別会計、介護保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算は総員の賛成により認定。下水道事業会計は総員の賛成により可決および認定しました。



一般会計決算等審査特別委員会委員名簿(議席順)

委員長	前川 綾子 (夢みらい鎌倉)
副委員長	高野 洋一 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
委員	児玉 文彦 (公明党鎌倉市議会議員団)
	日向 慎吾 (夢みらい鎌倉)
	くりはらえりこ (銀河鎌倉)
	森 功一 (自民党・無所属の会)
	保坂 令子 (神奈川ネットワーク運動鎌倉)

急増する外国人観光客のインバウンド対応については、外国語対応可能な観光案内所のスタッフを増員するなど、観光基盤を充実させることと、鎌倉の魅力の向上および本市の観光分野における収入増を図ることを求めるほか、本市が「密」を避ける行動のための参考情報として運用を行っている鎌倉観光混雑マップについては、対象箇所を増やし、ライブカメラ映像によるリアルタイム情報を表示するなど、さらなる拡充を求める。

○高年齢者の外出支援等の福祉サービスの充実について
誰もが安心して健康に暮らし続けていくことができるよう福祉サービスに関する予算および人員などの体制を充実させた上で、現在実施している高年齢者運転免許証自主返納者等支援事業を継続的な補助制度へ拡充するなど、高年齢者の外出支援をはじめとする市民に寄り添った多様性のある福祉サービスの充実を求める。

○消防機能の充実について
市民の安全・安心を支えるべく、24時間体制を維持することが求められる消防職員については、適正な人員を確保するため、継続した採用を行うとともに、消防団員に対しては、オンラインによる研修等を推進し、負担軽減を図り、円滑な活動につなげることを求めるほか、地域防災力の充実・強化を図るため、消防団活動の重要な拠点である分団器具置き場の計画的な維持修繕や資機材の充実を求める。

その後、6会派から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き採決を行った結果、一般会計、大船駅東口市街地再開発事業特別会計、国民健康保険事業特別会計および公共用地先行取得事業特別会計の歳入歳出決算は多数の賛成により認定。下水道事業会計は総員の賛成により可決および認定しました。

9月14日開催 審査した内容(議案3件、報告事項3件)

報告事項 ごみ処理施策等の進捗状況について

名越クリーンセンターは令和7年(2025年)1月中をめどに稼働を停止します。停止後は、今泉クリーンセンターに市内の燃やすごみを搬入したのち、逗子市の既存焼却施設や民間処理施設等に運搬の上、焼却や資源化処理を行う予定とのことです。また、名越クリーンセンターの解体後、同地に中継施設を整備する予定であるため、「鎌倉市名越中継施設整備基本計画」を令和5年(2023年)8月24日付で策定し、処理方法や施設規模等を設定したほか、稼働開始時期を令和10年度中とするよう見直したとのことです。中継施設の整備に当たっては、名越クリーンセンター周辺自治・町内会と組織する協議会において、協議を継続していくとのことです。

また、今泉クリーンセンターの中継機能の継続利用については、住民説明会や交通量調査を実施したほか、今後も周辺町内会と組織する協議会において協議を継続していくとのことです。

委員会では、報告事項について了承されました。

【中継施設整備の全体スケジュール概要】

(年度)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
名越	焼却処理						
	中継施設整備	計画策定・発注支援		解体・整備			
今泉	中継機能(協定上の期間)						
	中継機能(延長期間)						
	全市のごみの受入期間						
	臭気・騒音等対策強化工事						

9月19日開催 審査した内容(議案3件、報告事項4件)

報告事項 (仮称)おくやみコーナーの設置に向けた取組状況について

(仮称)おくやみコーナーは、身近な方を亡くされた後に市役所で行わなければならない手続きを1カ所に集約し、ご遺族等の不安や負担を軽減することを目的として設置しようとするものです。

現状では、身近な方を亡くされた場合の様々な手続きについては、市民課へ死亡届を提出した後、ご遺族等が各課窓口を回り、必要な手続きを行っていますが、ご遺族等は、葬儀の執り行いや関係者への連絡、調整等、短期間に多くの事務を行う必要があり、大きな負担がかかります。このため、(仮称)おくやみコーナーでは、市で行う全ての手続きの案内と申請受付を行うことを想定し、12月中の設置を目指して詳細な制度設計を検討していくとのことです。

設置場所は、令和5年(2023年)11月以降に開放予定の本庁舎1階の市民課マイナポイント申込サポート窓口スペースを活用するとのことです。委員会では、報告事項について了承されました。

市民環境常任委員会

建設常任委員会

常任委員会

審査の一部を紹介します

総務常任委員会

教育福祉常任委員会

9月15日開催 審査した内容(議案3件、陳情2件、報告事項5件)

議案第53号 令和5年度鎌倉市下水道事業会計補正予算(第1号)

市では、国道134号稲村ヶ崎駅入口交差点付近の道路擁壁の破損および海側歩道の沈下に伴い、令和3年(2021年)8月から、当該歩道上に仮設した下水道管を車道内に埋設する新たな下水道管に切り替える工事を進めています。

この工事について、当初の設計条件と現場の状況が変わってきていることにより、必要な工法変更を行うため、建設改良費を2億2171万6千円増額するなどの補正予算案が提案されました。

なお、工期については、現時点で令和6年(2024年)10月の竣工を予定しているとのことです。

委員会では、本議案について、総員の賛成により可決されました。



【公共下水道(汚水)改築工事の施工箇所】

9月13日開催 審査した内容(議案2件、陳情4件、報告事項8件)

報告事項 深沢スポーツ広場代替用地の整備状況について

深沢地域整備事業用地内で暫定利用している深沢多目的スポーツ広場が、令和6年度以降に予定している土地区画整理事業に伴い、令和6年(2024年)1月をもって一般利用を終了することから、代替地として山崎浄化センター敷地内にスポーツ等広場を整備するとのことです。

整備内容としては、高さ10メートルの防球ネットをJRの線路側や住居側などに設置し、ボール等が広場外に出ないようにするとともに、整地をする予定とのことです。また、山崎浄化センターの土地は国の補助金を活用して取得したものであるため、当該整備を行うには国の承認が必要であることから、県を通じて国へ承認申請しているとのことです。

本件については既に深沢多目的スポーツ広場の利用団体に周知していますが、今後の利用方法など詳細について、丁寧に説明等を行っていく予定であるとのことです。

委員会では、報告事項について了承されました。

議決された主な議案

※7月臨時会では、市長提出議案2件、9月定例会では、市長提出議案23件、議員提出議案3件、陳情2件の採決を行いました。
※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 一：反対

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), Main Proposal (主な議案), and Decision Result (議決結果). Rows include various council resolutions and budget items.

※久坂くえ議員は、令和5年(2023年)10月3日付で辞職しました。

7月臨時会

緊急に議会の議決を必要とする案件が生じたため、7月13日に臨時会を開催し、市長から2件の議案が提出されました。

主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《市長提出議案》

控訴の提起

鎌倉市小町に本市が所有および管理している水路および水路用地が建物により不法に占有されているため、その状態を解消すべく、建物所有者および占有者に対して、平成30年10月30日に本市が建物収去・建物退去土地明渡しを求めました。

《議員提出議案》

紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書の提出について【議会議案第3号】(詳細は4面に掲載)

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について【議会議案第4号】(詳細は4面に掲載)

鎌倉市小町に本市が所有および管理している水路および水路用地が建物により不法に占有されているため、その状態を解消すべく、建物所有者および占有者に対して、平成30年10月30日に本市が建物収去・建物退去土地明渡しを求めました。

地方裁判所から、その他被告らに対する明渡請求が権利濫用に該当するとして、原告である本市の請求をいざれも棄却する判決が言い渡され、この判決に不服があることから、東京高等裁判所に控訴を提起しようとするものです。

議案では、総員の賛成により、原案を可決しました。

補正予算
一般会計補正予算(第4号)

【議案第32号】(仮称)長谷3号緑地の崖崩れの緊急対応および本復旧

工事に向けた工事設計に係る経費を追加しようとするもので、歳入歳出ともに4773万3千円を増額し、補正後の総額は、682億8796万4千円となります。

議案では、総員の賛成により、原案を可決しました。

9月定例会
9月定例会では、議員から3件の議案が、市長から23件の議案が提出されました。

主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》
紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書の提出について【議会議案第3号】(詳細は4面に掲載)

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について【議会議案第4号】(詳細は4面に掲載)

9月定例会

を求めため、植木剪定材以外の事業系一般廃棄物処理手数料を10キログラムにつき250円から400円に改めようとするもので、令和6年10月1日から施行しようとするものです。

議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

補正予算

【議案第50号】
対象火災設備等の位置、構造及び管理並びに対象火災器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、必要な事項を定めようとするものです。

その主な内容は、蓄電池設備について、脱炭素社会の実現等に向け、さらなる普及の拡大や大容量化が見込まれるとともに、材料・構造等の多様化が進んでいること、JIS等の標準規格において防火防止措置や延焼防止措置等が盛り込まれるようになつてきたことなどを踏まえ、主に開放形の鉛蓄電池を想定した内容である従前の基準を、蓄電池設備の種類や安全性に応じた内容となるよう改定するものです。

また、別表第1に定める厨房設備の部において、固体燃料を用いた厨房設備の離隔距離を新たに定めようとするもので、令和6年1月1日から施行しようとするものです。

議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《市長提出議案》
鎌倉市廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について【議会議案第49号】

大船消防署に配置予定の製造請負契約の締結について【議会議案第35号】

はしご付消防自動車購入に要する経費を追加しようとするもので、歳入歳出ともに79

7万3千円を増額し、補正後の総額は、170億567万3千円となります。

議案では、総員の賛成により、原案を可決しました。

公平委員会委員
公平委員会の委員の任期満了に伴い、市長から提案のあった次の方を選任することについて、議会では総員の賛成により同意しました。

西村美奈子氏(横浜市在住)
任期は、令和5年10月29日から4年間です。

私は若者から年配の方々まで「まず表紙を見て1枚めくってみたい」そんな議会だよりを目指して活動しています。

年間を通じて議会広報委員会は開かれます。6名の委員で構成されています。

先日は他自治体の議会だよりを持ち寄り、活字や写真とのバランスや、読み手に配慮がされているかなどを検討し、今後の参考としました。

市民の皆さまにとって年4回の発行を楽しみにしていただける、そんな内容にしたいと思っております。

今後とも忌憚ないご意見を議会広報委員まで頂戴できますよう、この場をお借りしてよろしくお願ひ申し上げます。

議会広報委員
後藤 吾郎

編集後記

7万3千円を増額し、補正後の総額は、170億567万3千円となります。
議案では、総員の賛成により、原案を可決しました。